

航空機部品製造 学生が技術競う

関市でコンテスト

関市迫間の中日本航空専門学校航空生産科の学生による技能コンテストが30日、同校で開かれ、学生たちは航空機部品製造の技術を競った。写真。

同科は航空機メーカーや部品工場への就職を目指す技術者を養成している。国産初のジェット旅客機「MRJ」の製造などにより飛行



機部品製造の裾野が広がると見込まれていることから、学生の意識を高めるため同科として初めてコンテストを行い、学生約140人が参加した。

競技は、航空機のボディに使うアルミ板の穴開けや、その穴にリベットを打ち込む工程、さらにそこに隙間がないか放射線や超音

波で検査する内容。学生たちは、ドリルを使って穴を開けるなどした。
(田島豪人)